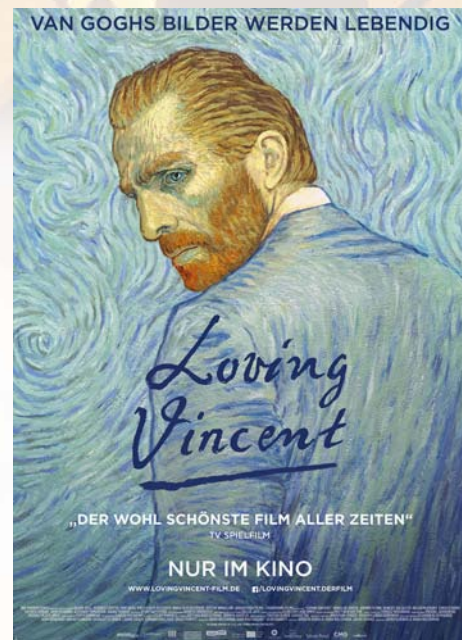


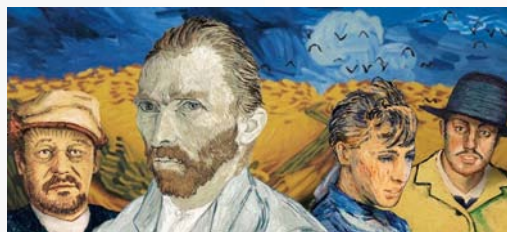
## Loving Vincent

(英、ポーランド、95分、12月28日公開)



あらすじ

Vincent van Gogh の他界から1年後に突然、本人名義でその弟 Theodorus van Gogh宛の手紙が現れる。元担当の郵便配達人 Joseph Roulinは強い責任感の持ち主で、息子Armandに、老いた自分の代理として、手紙をTheoに届けるよう託す。Theoを見つけられないArmandは手がかりを求め、Vincent van Gogh が最期までの1週間を過ごした地Auvers sur Oiseを訪れることにした。そこでArmand は、Vincentの死去を巡る数々の不明瞭な点と嘘にぶつかり、その死の謎を解こうとするが…。



確かにVincent van Goghの最期に関する謎解きも関心を引く。

その一方で、もそもそも映画すべてがvan Gogh風の油絵から成り立っているのも目を惹く作品。

まるでVincent van Goghの絵が動く。4年の歳月をかけ、ブルースクリーンで実写した俳優の動きを活かしつつ、総勢120名に及ぶ画家の手による6万5千枚の油絵を使用したそうだ。

試み自体もとても興味深く、Vincent van Goghの作品を好きな方はもちろん、そうでない方も味わえる、そんな1本です。

と、今回はここまで。次回作もお楽しみに。

